

国史跡青谷上寺地遺跡の整備事業計画について

鳥取県埋蔵文化財センター

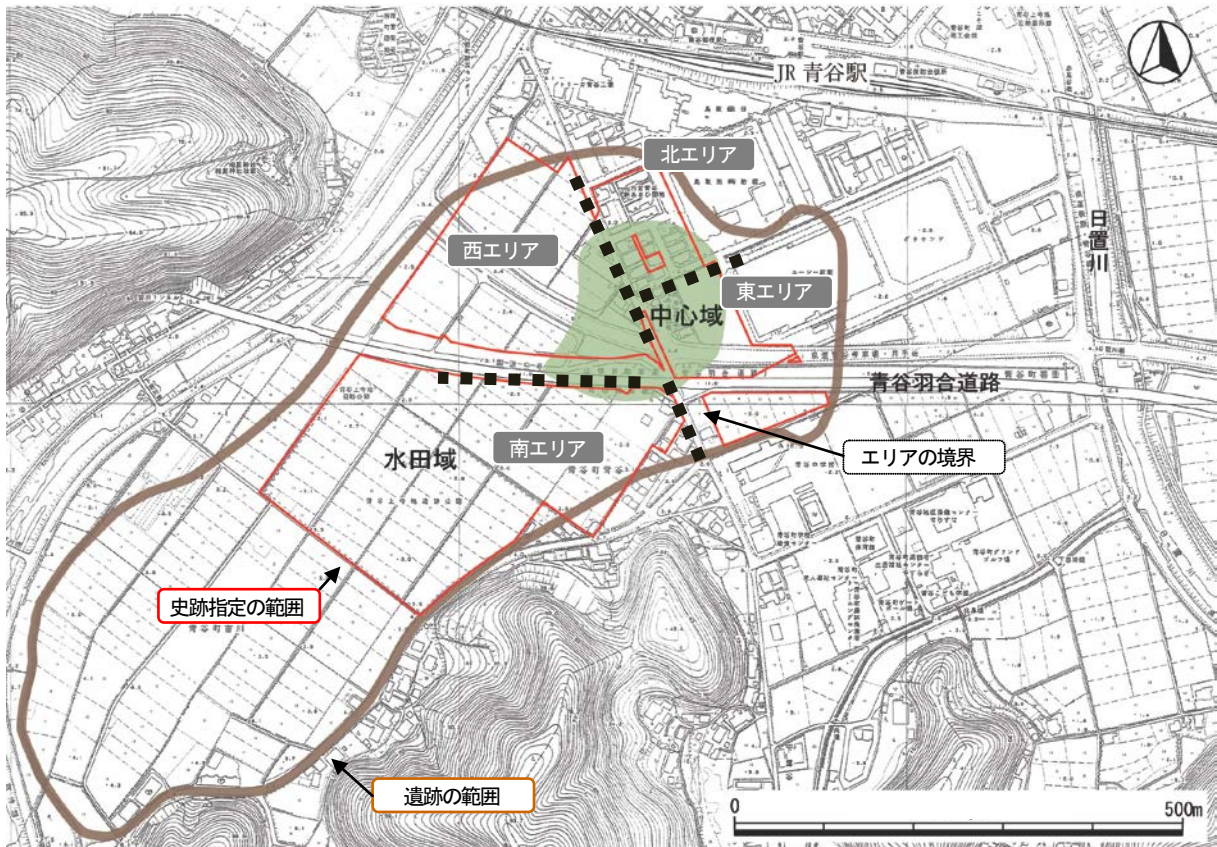
1 整備事業計画

年度	公有化	当初の計画	今後の計画	備考
H20	公有化			
H21		基本計画	基本計画	
H22				
H23		基本設計		
H24		実施設計		
H25		整備工事		
H26				
H27			発掘調査	
H28		公開	基本計画 (詳細化)	AR作成
H29			西エリア	
H30			北エリア	
H31 以降				

2 基本計画の詳細化と基本設計にかかる作業スケジュール

平成28年度 基本計画の見直しと詳細化① (H28年10月～H29年3月)	
現況把握	関連法規・計画、自然・社会条件、史跡に関わる課題、史跡の活用状況など
調査	設計条件の調査、類例調査 (同時代や類似環境にある史跡の整備・活用など)
整備方針検討	整備のイメージと方向性 (遺構保存、環境整備、復元整備、体験施設・空間、ガイダンス・展示施設、ソフト事業、地域連携など)
平成29年度 基本計画の見直しと詳細化②、基本設計案検討 (H29年4月～H30年3月)	
分析評価	設計条件の調査、類例調査 (同時代や類似環境にある史跡の整備・活用など)
活用方針検討	テーマ、キャッチフレーズ、ソフト事業、地域連携、むきばんだ史跡公園との連携、維持管理、運営イメージなど
基本設計案検討	遺構保存、環境整備、復元整備、体験施設・空間、ガイダンス・展示・便益施設、サイン・園路・導線、植栽、インフラ (電気、上下水道、排水) など
平成30年度 基本設計とりまとめ (H30年4月～10月) 報告書作成 (11月～H31年3月)	
基本設計作成	イメージ図、各種基本設計、概算事業費算定、事業計画 (年次計画・工程) など
報告書編集	基本計画最終確認

3 遺跡の範囲・史跡指定の範囲・エリア区分



南エリア→西エリア→東エリア→北エリアの順に整備工事を進め、段階的に公開・活用することを検討

4 整備のスタイル (案)

生活・技術体験型整備 ⇔ 景観体験型整備 (むきばんだ史跡公園)

・建物など、遺構の復元は最小限にとどめ、保存状態に優れた出土品を最大限に活かした青谷上寺地遺跡ならではの整備を目指す

更新(持続)型の整備・活用

・現在の生活(町や社会)と乖離した場所をつくるのではなく、地域の方々と一緒に史跡を活用しながら、整備を進める

5 整備の核となる施設や表示(案)

展示施設：青谷上寺地遺跡の大きな特徴である優れた出土品を展示、学習、活用

ガイダンス施設：生活・技術体験などの活動の舞台、地域の人々の交流の場

遺構展示施設：実物又はレプリカを用いた遺構の展示、学習の場

遺構表示：中心域および周辺を対象に弥生時代や古代の遺構を表示し、顕在化

屋外体験施設(低湿地環境、水路、水田など)：農業や自然を体験、学習する場

便益施設：駐車場、便所、水飲み場、足洗い場など

6 とっとり弥生の王国調査整備活用委員会 整備活用部会の開催計画(案)と検討内容

第1回(20170329開催) 整備活用基本計画の詳細化における論点を整理、検討

第2回(20170629開催) 現状把握、課題分析に基づき、活用や整備の方針や方向性を検討

第3回(20170927予定) 整備活用テーマ、保存管理・活用・整備計画(一部)の項目ごとの検討

第4回(201802下旬予定) 整備(一部)・維持管理・運営計画の項目ごとの検討

第5回(201807下旬予定) 基本計画(詳細版)の最終調整

基本計画(詳細版)の完成(201809下旬)

基本設計の完成(201903下旬)